

① へ

議会だより

Vol.228

令和5年3月31日
発行

祝 100歳



百寿おめでとうございます。

(特養ホーム折爪荘での長寿祝い)

令和4年第4回定例会(令和4年12月定例会)

も く じ ● CONTENTS

一般会計補正予算に物価高騰による支援費を追加…2

選挙運動の公費負担に関する条例を改正…4

議員は何をしているの? ……6

一般質問6人が登壇・村政を問う…7

小さな太陽・明日をひらく子どもたち《江刺家小学校》…14

一般会計補正予算は8836万円を追加



物価高騰により公共施設の維持管理費が増大している

令和4年第4回定例会は、12月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。今定例会では、村長から条例改正や補正予算など9件の議案が提案され、慎重に審議した結果、全ての議案が原案のとおり可決されました。一般質問には、6人が登壇し、村政運営、農業振興、教育振興、村づくりなどについて、村の考えをいただきました。

補正予算の主な内容

- 【総務費の財産管理費】**
 役場庁舎に係る燃料費、電気料金の高騰による経費の不足が見込まれるため、燃料費・光熱費を増額。
 ↓ 378万7000円
- 【総務費の企画費】**
 路線バスの運行に係る燃料費等の価格が高騰していることから、広域生活路線維持費補助金を交付するもの。
 ↓ 189万2000円
- 【総務費の企画費】**
 新型コロナウイルス・オミクロン株対応ワクチンの追加接種に係る経費として。
 ↓ 65万9000円
- 【民生費の社会福祉総務費】**
 あったか生活支援として、従来の額に6000円を嵩上げ給付するとともに、新たに住民税均等割非課税世帯へも6000円給付を行うもの。
 ↓ 414万円
- 【農林水産業費の農業振興費】**
 農業者へ燃油価格等高騰対策のため、農業燃油価格等高騰対策支援事業助成金として
 ↓ 677万5000円
- 【農林水産業費の畜産業費】**
 飼料価格高騰対策支援事業助成金として。
 ↓ 230万3000円
- 【商工費の商工振興費】**
 商工業者等に対する燃油価格等高騰対策事業者支援助成金として。
 ↓ 2250万2000円

村議会議員選挙・村長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例を改正



公職選挙法施行令の改正に伴い、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラ及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担額の上限が引き上げられました。公職選挙法施行令の改正内容に準じて、選挙運動の公費負担に係る上限額を改正したものです。

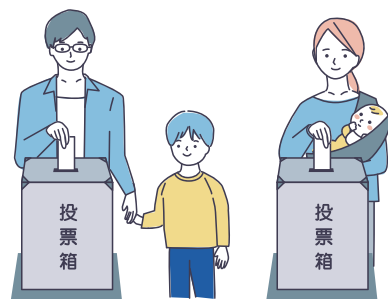
▼条例改正の理由

第4回定例会では、「九戸村議会議員及び九戸村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例」が改正されました。

▼議員選挙に供託金制度が導入されます。

令和2年6月に公職選挙法の一部を改正する法律が公布されました。町村の選挙における立候補者の環境改善のために、選挙公

営の対象拡大に伴う措置として、供託金制度が導入されることになり、町村議会議員の選挙について、供託金15万円の納付要件が定められました。村では、令和2年12月に条例が制定されており、本年6月に行われる村議会議員選挙から初めて適用されることとなります。



選挙公営制度(公費負担)について

◇制度の概要

選挙公営制度とは、お金のかからない選挙のため、また、立候補の機会や候補者間の選挙運動の機会均等を図るため、一定の範囲内で、立候補者の選挙運動費用の一部を公費で負担する制度です。町村の選挙における立候補環境の改善を図るため、令和2年6月に公職選挙法が改正され、選挙公営の対象が拡大されました。

◇選挙公営の主な対象と限度額

1 選挙運動用自動車の使用

自動車の借入れ(各日につき)	16,100円
燃料代(選挙運動日数につき)	7,700円

2 選挙運動用ビラの作成

ビラ1枚あたりの上限単価	7円73銭
村議会議員選挙における作成限度枚数	1,600枚
村長選挙における作成限度枚数	5,000枚

3 選挙運動用ポスターの作成

印刷費単価	541円31銭
企画費	316,250円

4 供託金

村議会議員	15万円
村長	50万円

令和4年第4回定例会 議員ごとの賛否の状況

議案等番号	議案名等	古舘 巖	川戸 茂男	坂本 豊彦	大崎 優一	中村 國夫	久保えみ子	保大木信子	岩淵 智幸	渡 保男	山下 勝	桂川 俊明	櫻庭豊太郎	採決の結果
第1号	九戸村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	可 決
第2号	特別職の職員の給与に関する条例の改正	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	
第3号	一般職の職員の給与に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第4号	九戸村議会議員及び九戸村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第5号	令和4年度一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第6号	令和4年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第7号	令和3年度索道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第8号	令和4年度戸田財産区特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第9号	令和4年度伊保内財産区特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
陳情	第7号 農作業受託に関する陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	採 択

表の見方 「○」は賛成、「×」は反対、「-」は採決に加わらなかった。
 ※櫻庭豊太郎議長は、賛否が同数などの場合にのみ、採決に加わりません。

第4回定例会

こんなことが決まりました

条 例

▼九戸村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正
 国の例に準じて、議員の期末手当の額を改定しました。

▼特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正
 国の例に準じて、村長、副村長、教育長の期末手当の額を改定するとともに、選挙長等の報酬額を明記するため、所要の整備を行いました。

▼一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正
 国の例に準じて、給料月額及び手当の額を改定しました。

▼九戸村議会議員及び九戸村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正
 公職選挙法施行令の一部改正に伴い、所要の整備を行いました。(詳細は、3ページに掲載のとおりです。)

補正予算

▼令和4年度一般会計補正予算(第9号)
 予算総額に8836万9000円を追加し、67億4380万7000円としました。
 主な内容は、2ページに掲載のとおりです。

▼令和4年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
 予算総額に403万9000円を追加し、1億6649万7000円としました。
 内容は、下水道施設の電気料金などを増額するものです。

▼令和4年度索道事業特別会計補正予算(第2号)
 予算総額に15万1000円を追加し、757万9000円としました。
 内容は、自治会事業への寄付

金です。

▼令和4年度伊保内財産区特別会計補正予算(第1号)
 予算総額に9万2000円を追加し、1068万9000円としました。
 内容は、街路灯の電気料金を増額するものです。

あなたの陳情

みなさんから提出された陳情は、第4回定例会で次のように決まりました。

採 択

○農作業受託に関する陳情書
 陳情者 九戸村農業機械化銀行受託者協議会
 会長 平中由一
 ▼要旨 米価下落による農業収入の減少、生産資材などの価格の上昇、原油価格の高騰による燃料費の増加により農業所得は大きく減少する見込みであり、地域経済に与える影響も大きく、農家の経営安定のため、次の事項を要望するもの。
 ①燃料費コスト上昇分の助成。
 ②農業機械購入資金に対する無利子助成。

反対討論 久保えみ子議員

議案審議にあたって、次のとおり反対討論がありました。

九戸村議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の改正に反対
 コロナ禍による収入減と異常な物価の高騰で、村民の暮らしはますます苦しい生活状況となっている。
 議員の期末手当を引き上げる前に、村民の所得向上と福祉政策などの充実を最優先に取り組むべきだ。このことから、この条例案に反対する。

特別職の職員の給与に関する条例の改正に反対
 自治体は、福祉の向上のための仕事をする機関だ。この立場に立つて、村民の暮らしを守ることに責任を果たさなければならない。しかし、福祉対策などはまだまだ不十分だ。
 特別職の期末手当を引き上げる前に、村民の所得向上と福祉政策などの充実を最優先にして取り組むべきだ。このことから、この条例案に反対する。

～村政を問う～

一般質問に6人が登壇

12月定例会での一般質問は12月8日に行われ、6人の議員が一般質問に登壇し、活発な議論が展開されました。
掲載している内容は、紙面の都合で要約しています。
全文記録(議事録)は、村ホームページでご覧いただけます。

質問議員 (質問順)	質問事項	掲載 ページ
川戸 茂男 議員	○令和5年度一般会計予算の編成について ○公募型プロポーザル方式による工事等の発注について ○農業振興について	8
桂川 俊明 議員	○九戸村総合公社について ○組織機構改革について	9
岩淵 智幸 議員	○令和5年度予算編成について ○村長の諮問に対する消防団からの回答について ○災害対策について	10
中村 國夫 議員	○村政運営について ○県立伊保内高校について ○不登校、いじめ問題について ○本村の職員採用について	11
久保えみ子 議員	○肥料、飼料高騰対策について ○公共施設、学校などにおけるトイレへの生理用品の設置について ○地域交通政策について	12
保大木信子 議員	○高齢者のごみ出し支援について ○保育環境について	13

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針などについて所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。
九戸村議会では、一人60分以内の制限時間で質問を行います。

※一般質問はアクリルパーテーションを設置したうえで、マスクをはずして行っています。

議員は何をしているの？

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。
ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。

10月

- 3日 総務教育常任委員会行政視察調査・研修
- 13日 産業民生常任委員会行政視察調査・研修
- 21日 第9回委員長研修会
- 25日 議会運営委員会
令和4年第7回村議会臨時会
村政調査会
- 28日 二戸地区広域行政事務組合議会定例会
議会広報常任委員会

12月

- 2日 産業民生常任委員会
- 7日 カシオペア連邦議会議員協議会役員会
- 8日 岩手県町村議会議長会政務調査会
- 9日 第66回町村議会議長全国大会
第47回豪雪地帯町村議会議長全国大会
- 18日 カシオペア連邦議会議員協議会「議員活動推進交流会」
- 21日 町村議会広報担当者研修会
- 22日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員研修会
岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会
岩手県後期高齢者医療広域連合議会11月定例会
- 29日 村政調査会

- 5日 議会運営委員会
令和4年第4回村議会定例会
本会議(議案説明)
議員全員協議会、村政調査会、各常任委員会
- 8日 令和4年第4回村議会定例会
本会議(一般質問)
- 9日 令和4年第4回村議会定例会
本会議(議案審議)
- 14日 洋野町議会運営委員会との情報交換会
- 20日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員全員協議会
岩手県後期高齢者医療広域連合議会12月臨時会
- 21日 村営くのへスキー場安全祈願祭・開場式
- 22日 村政調査会



洋野町議会との情報交換会(12月14日)

請願・陳情の 出し方

- ① 請願書(陳情書)は、その趣旨、理由を簡潔にわかりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、提出者の住所、氏名を書いて押印してください。
- ③ 請願書は一人以上の紹介議員が必要で、表紙に自書による署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は、簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

(記入例)

(表紙)	(内容)
請願(陳情)書	令和 年 月 日 九戸村議会議長(氏名)殿 請願(陳情)者の住所 氏名 〇〇〇について 請願(陳情) (要旨) (理由)
紹介議員 氏名	



川戸茂男 議員

令和5年度一般会計予算の編成について

村長▶最重要課題は、人口減少と少子化、高齢化だ

問 任期最終年度の予算編成にあたり、最重要施策は何か。

答 また、その予算額はどの程度を想定しているのか。

村長▶ 私が最重要課題として位置付けているのは、人口減少と少子化、高齢化になる。

問 新年度も最重要課題に対処するため、コロナ対策を含む複数の施策の検討と予算化を指示しているが、財源

問 プロポーザル方式の透明性・公平性の確保のため、マニュアルを策定しているのか。



共同住宅の建設予定地(川向)

確保など流動的な部分もあり、今後、担当部署ごとに予算見積書を取りまとめおくことになるが、現時点で具体的な数字をお示しする段階ではない。

第3次九戸村総合発展計画に基づいて、令和5年度に実施することが必要な事業を予算化するという基本姿勢でいる。村民に寄り添った施策を着実に、積極果敢に進めていきたい。

公募型プロポーザル方式による工事発注について

村長▶ 公募型プロポーザルは、業者の専門的な技術や企画提案力に期待し、企画内容等の比較により契約の相手方を選定する方法だ。

問 今回の発注は、村の財務規則と平成27年施行の随意契約ガイドラインにより、公募型プロポーザル実施要領を作成して公募したものだ。

問 今年度、2件のプロポーザル方式による工事等の発注があった。うち1件は、応

募は1社のみで契約金額は1億120万円だったが、透明性・公平性が確保されていたのか。

村長▶ 1件は、「九戸村共同住宅整備事業」として、企画提案から設計・工事施工を一括して公募した。もう1件は、村内の森林資源等を生かした持続可能な地域づくりを目指し、本村での担い手確保に向けた移住定住促進の事業提案を求めるものだ。透明性・公平性は、問題ないものと認識している。

問 公募型プロポーザル方式の適切な運用を検証するため、第三者の有識者で構成する入札監視委員会を設置すべきだと思いが、考えはどうか。

村長▶ 私も透明性・公平性の確保は重要であることは十分に認識している。1者の随意契約は可能な限り避けることや村内業者の育成など、指導してきたところであり、さらに透明性・公平性を確保強化するために、調査研究をしていく。

農業振興について

問 配合飼料や化学肥料の価格高騰が農業経営を圧迫している。支援すべきだ。

村長▶ 今議会の一般会計補正予算に燃油価格高騰対策として動力光熱費に対し、一定の基準で助成する支援策と、飼料価格高騰対策として乳用牛・肉用牛飼養者に対し助成することとしている。

問 高齢化により、農作業の受託農家が減少し、村の基幹産業である農業が危機的な状況にある。受託農家の支援と新たな受託者の育成が必要ではないか。

村長▶ 受託農家の減少、衰退が進めば、村の農業にも大きな影響が考えられるので、今後の農業のあり方を見据え、何が問題になっているのか、解決するには何が必要かなど、農業者と村との情報共有、協議を進めていきたい。

役場の組織機構改革について

問 令和3年4月から、総合発展計画の実現に向け、組織機構改革を行い実行してきた中で、成果と課題をどのように捉えているのか。

村長▶ 令和3年4月からの組織改革では、人口減少対策、少子化対策を最重要課題として取り組むIJU戦略室を設置し、総務課を管理部門に特化した。

また、保健分野と福祉分野を統合した保健福祉課を設置。農林業振興部門では、産業振興課と地域整備課に分割し、税務会計課を税務住民課としたことだ。令和3年4月の組織改編は、一定の成果があったものと認識している。

新たな課題等もあるが、1層の住民サービスの向上に向けて、事務事業の改善を実施していく。

問 近年、職員の中途退職者、休職者が見受けられるが、現状をどのように受け止めているのか。

村長▶ 全体の奉仕者として入庁した将来性のある方々の退職は残念だ。職員確保も困難な時代であり、待遇面も改善しながら育てていくという視点も必要な時代になってきている。

また、県内の類似団体に比較して職員数が少ないことに加え、事務量の増加、多様化する住民要望に対応するため、職員一人当たりの負担が多くなっていることも要因と推察している。

問 将来の村づくりには、職員的能力開発が重要と考えるが、有能な人材の育成をどのように考えているのか。

村長▶ 職員の資質を高め、適切な行政執行の管理体制を構築するには、各種研修の受講や管理職によるマネジメントによるところが大きい。職員としての必要な資質を着実に高めるなど、公務員としての自覚と教養を身に付けてもらい、村民の負託に応え得る人材を育成していきたい。



桂川俊明 議員

「木の駅」構想と今後の計画はどうか

村長▶ふるさとの館隣に整備を進める



ふるさと創造館のとなりに整備を進めている「木の駅」

問 ふるさとの湯つこの木質ボイラーの導入と「木の駅」構想を進めているが、今後の計画はどうか。

村長▶ 現在のタイヤボイラーをタイヤだけでなく、木材も燃焼できるように対策を講じた上で運用するようしたい。

現在、ふるさとの館の隣接地に間伐材等を集め、乾燥させるストックヤードと木の駅を整備しており、令和5年4月頃から「木の駅」の運用を開始する計画を進めている。

問 ナインズファームの機能強化のため、総合公社に統合し1年が経過したが、その成果と今後の取り組みはどうか。

村長▶ 北側駐車場が混み合うなどで、南側駐車場にお客様が駐車した場合を想定し、お客様が安全に水路を横断できるように通路を整備する予定だ。

問 駐車場の舗装は、令和5年度の施工となるが、南側駐車場の早期整備を行い、快適な産直施設オドデ館となるように工事を進めていく。



岩淵智幸 議員

令和5年度の新規事業はあるか

村長 ▶ 担当部署に指示しており、具体化させていく

問 令和5年度の予算編成にあたり、基本方針と重点施策は何か。また、新規事業はあるのか。

村長 予算編成の基本方針は、歳入に見合った歳出削減を進めつつも、村民生活に必要な行政サービス水準を保つとともに、総合発展計画やふるさと総合戦略を含む各種計画における施策を推進する事業経費の予算化を図ることとしている。

さらに、限られた財源、限られた人員の中で事業を実施し、課題を解決していくために、事業の優先度と事業効果を意識し、徹底した経費削減に取り組むこと。事務事業の必要性・効果などを再検証しながら事業効率を高めていくことを基本方針に掲げている。

新規事業については、担当部署に検討するように指示しており、具体化させていきたい。

問 現在、基金としている森林環境譲与税について、今後どのような事業に使うのか。

村長 森林環境譲与税は、今年度は「森林公園の間伐」、「薪ストックヤード建築」、「森林経営管理

制度に基づく意向調査業務」等に活用するため、基金を一部取り崩す予定だ。また、「木の駅」の運営経費や、村単独の補助事業等についても譲与税の活用を検討しており、森林の整備やその促進につなげていく。



地域防災に重要な役割を果たしている消防団

村長の諮問に対する消防団からの回答について

問 村長からの5項目の諮問に対して消防団が回答しているが、この回答をどのように受け止め、今後どのようにしていくのか伺う。

村長 本村では、消防団を取り巻く環境の変化の中で、とりわけ団員数の減少が憂慮されており、消防団

に対して分団の再編や団員報酬及び出動手当の見直し、各種訓練大会等の行事のあり方などについて、諮問したところだ。

消防団からは、率直な回答をいただいております。今後その内容を分析し、要望部分については、その実現可能性を探りながら、地域防災

災害対策について

問 豪雨災害により、同じ個所が何回も被害を受けているところがある。構造上の問題が考えられるが、災害が発生してからは、発生前に検証し改良する必要があると考えられるか。

村長 そのような個所では、災害に耐えうるような構造に強化することが最善であると考えますが、一方でその構造の強化は、災害復旧事業では対応ができません、単独の費用が発生するのが、現行制度の限界であることも考慮しなければなりません。

今後、構造上の問題を検証することと、これを解消するための費用について、比較しながら必要な対策を検討していくとともに、国、県への要望も引き続き行っていきます。

伊保内高校について

問 村では、伊保内高校の生徒確保に向けて、様々な支援策を実施し、高校の魅力化に取り組んでいる。大学などに進学できる支援体制が不可欠だ。現在の公営塾の開催状況と課題について伺う。

村長 公営塾については、さまざまな進路に対応したカリキュラムを設定しており、その中で進学者向けの講座も設定している。

今後も公営塾に限らず、高校の意向や生徒たちの要望や反応をみながら、村としてできる限りのことを希望



郷土芸能の伝承活動に取り組んでいる伊保内高校

に沿う形で進めていく。

昨年度の課題として、学校側との細かい調整がうまくいかず、講座が予定どおり開設できなかったということがあった。しかし、これはどの自治体でも導入直後の初期段階では起こりうることであり、学校と業者との連携が深まるにつれ、このような問題は解消されるものと認識している。

これからは、進路目標の実現のため、より生徒ひとり一人に寄り添った指導となるように学校側にも働きかけていくつもりだ。

不登校、いじめ問題について

問 全国の小中学校で不登校、いじめが増加しており、県内でも増加傾向にある。本村の状況はどうか。

教育長 いじめの認知件数については、全国的には増加しているが、本村では4月から11月までのところで小学校が3件、中学校が0件で落ち着いており、全国的な傾向とは異なっている。

職員採用について

問 本村の将来を見据えた体制を考慮し、バランスの取れた職員採用が必要ではないか。

村長 専門職の確保は、本村だけでなく、どの自治体でも苦戦しているのが実情だ。

新採用職員の確保が難しい中において、適材となる人材を外部に求めることも選択肢であり、専門的なスキルを持つ職員を会計年度任用職員として採用し配置している。今後とも技術職員の採用など、専門職の確保に向け努力していく。

元気な村を取り戻す対策はどうか

村長 ▶ 持続可能な村を目指して村政運営に努める

問 コロナ禍で、本村では農業、飲食業などの業種に影響が生じ、今後が心配される。新年度、元気な村を取り戻すために、どのような対策を推進していくのか。

村長 村を元気にしていくためには、これからの村を担う若い世代の育成が欠かせない。新規就農を支援するナインズファームの研修生も来年度の希望者も出てきているとの報告を受けている。若手農業者でつくる九戸村4日クラブも会員数も増え、村としてもその活動支援を強化していく。

林業では、自伐型林業を志す地域おこし協力隊員が4人となり、工芸技術の伝承習得を目指す協力隊員も2名となり、さらに増える予定だ。こうした村内外の若い担い手が九戸村でさらに活躍できるように、しっかりと支援しながら、活力のある村を目指していく。

さらに、村民に寄り添う施策を着実に進め、将来にわたって持続可能な九戸村を目指して村政運営に努めたい。



中村國夫 議員



久保えみ子 議員

物価高騰による農家への支援はどうか

村長▶一般会計補正予算に支援事業費を計上した



飼料価格の高騰により厳しい経営が続く畜産業

騰については、国の支援事業で対応していただくものだ。農業者の方々には、これらの支援事業を活用していただきたいし、今回の補正予算に支援事業費を計上しているので、ご賛同いただきたい。

進められている。村でも早急に実施すべきだと思いが、村長の考えはどうか。

村長 村内の小中学校の実態は、保健室に常備しておいて、取りに来る児童生徒に渡す方法のようだ。児童生徒や保護者からは、特にこれ以外の方法を望む声は寄せられていないというのが

現在の状況だ。したがって、当面は従来の方法を続けながら、児童生徒の個々の状況や学校現場の声などを踏まえ、必要に応じて検討していきたい。学校以外の不特定多数が利用する公共施設への設置についても、全国の取り組み事例等を情報収集しながら、どのような方法がよいか、検討していきたい。

地域交通政策について

豆腐一丁を買うにも近くに店がなく、交通手段を持たなければ日常生活を送ることができない状況になっている。

交通は、人権という立場にたつて、暮らしと命を支える大事な公共施設として村民全体を対象にし、村民が無料で利用できる地域交通政策を行っていくべきと考えるがどうか。

村長 村では、以前から地域交通の確保のため、生活バス路線の維持対策として、バス運行会社に補助金を交付

するとともに、社会福祉協議会で実施している「高齢者買い物支援事業」に向けて車両を確保し、買い物に不自由をしている方々の解消に向けて、事業の充実に取り組んでいる。提案のあった乗車料金の無料化については、財源には限りがあるということから、慎重に検討し、交通弱者問題の解決策を考えていきたい。

公共施設、学校のトイレに生理用品を設置できないか

女性の人権尊重の立場から生理用品を公共施設、学校などのトイレに設置することが全国各地で

肥料や飼料、燃料などの価格が高騰し、農産物の販売価格は低いままで、農家は経営危機に直面している。農家への支援が強く求められる状況だ。村の支援策はどうか。

村長 村では飼料、燃料等の高騰に対する支援を行いたいと考えており、肥料の高騰

本村における高齢者のごみ収集の現状について、調査・分析を行っているか。

村長 高齢化が進む本村では、ごみ出しや雪かきなどの日常生活での困りごとの相談が増加している。安心して暮らしていける村を目指すには、これまで

以上に地域での支え合いや助け合いが必要であると考え、住民主体の支え合いを考える「ご近所すけっ隊」が平成30年度に立ち上がっている。

この団体が主体となり、令和元年度に困っていること、これから不安だと思われることについて、アンケート調査を村内全世帯を対象に実施し、現状の把握に努めたところだ。

村としては、地域での支え合いや助け合い活動の推進、介護予防事業の充実やごみ減量化への取り組みなど、さまざまな施策を展開しているのか。

今後の高齢者世帯のごみ出しサポートをどのように考えているのか。

「ご近所すけっ隊」からは、雪かきやごみ出し



令和3年度に設置されたゴミステーション

保育環境について

戸田保育園の保護者に対して、今後、他の施設との合併も含めて聞き取りを行ったのか伺う。

保護者から聞き取りを行い、その中では、自宅や職場から近距離にある戸田保育園への通園を希望する意見や他の保育園を希望する声など、さまざまな意見があった。

聞き取りでは、保育園の統合の要望はなかったと聞いているが、今後も保護者の声に耳を傾け、よりよい子育て支援につなげていきたい。

戸田保育園は、子どもたちのことを考えると、合併も考えなければならぬと思うが、村長の見解を伺う。

戸田保育園は、園児数が少人数であることは承知しているが、保育園は福祉施設であることから、利用を希望する保護者がおられる場合は存続していくべきと考えられる。

ただ、今後のことは、実態を調査した上で、保育園を含む様々な施設のあり方を総合的に検討が必要だと考えている。

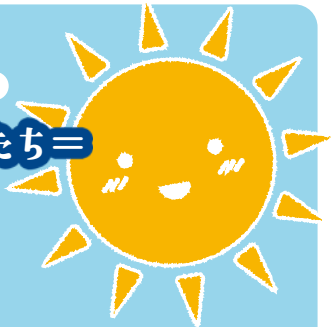
高齢者のごみ出し支援について

村長▶地域での助け合い活動を進めていく



保大木信子 議員

小さな太陽 =明日をひらく子どもたち=



キラキラ輝く瞳。大きな夢なら負けません。

このコーナーでは、そんな太陽のような目をした子どもたちに登場してもらいます。

vol.228

令和5年3月31日発行

発行／九戸村議会
編集／議会広報常任委員会

〒028-6502 岩手県九戸郡九戸村大字伊保内10-116
電話：0195(42)2111(代) FAX：0195(41)1005
E-mail: gikai@vil.kunohi.iwate.jp



九戸村の未来

江刺家小学校 5年
ほそかわ あさ
細川 亜沙さん

わたしが九戸村で好きなところは、自然豊かなところです。わたしが好きな九戸村の未来は、こうなつてほしいと思います。それは、今より自然が豊かになることです。理由は二つあります。一つ目は、自然とふれ合ふことが楽しいからです。九戸村には、折爪岳や森林公園、雨堤みなどきれいな自然がたくさんあります。もっと自然が豊かに

なつたら空気がきれいになるし、景色を楽しむことができます。二つ目は、九戸村でしか作れないものがあるからです。甘茶や山菜、キノコ、山ぶどうなど村の自然で育つた食べ物はおいしいです。自然が増えれば、九戸産のおいしい物をみんなに食べてもらえ、九戸村に興味を持つてくれる人が増えると思います。もっと自然を豊かにす

るには、地区ごとや学校ごとに活動をしたら良いと思います。例えば、道のごみ拾いをしたり、花だんに花を植えたりする活動が考えられます。他にも九曜塾などに参加し、九戸の自然の良さを私達が知つて他の人に広めるなど、たくさんできることがあります。わたしが好きな九戸村の自然がもっと豊かになつたらいいなと思います。



九戸村の未来について

江刺家小学校 5年
のへち ときみつ
野辺地 登希光さん

今、九戸村は、人口が減っています。特に若い人達の人口が減っているの、ぼくは、若い人達に魅力的な村づくりをしていくのが大事だと思います。なので僕が考えたことは、東京オリンピックから競技種目になつた、スケートボードやBMXが練習できる場所を作ればいいと思います。スケートボード場を作

る時は、行きやすく初心者でもできるコースにし、また見映えをよくすれば、若い人達が集まると思います。BMXの練習場はすでにあります。山の中にあるのが原因なのか、BMXをやっている人を見るのが少ないです。なので、スケートボードと同じように行きやすい場所に作ればいいと思います。こういったことに取り

組み、九戸の人口の減少を止めて逆に九戸の人口を増やしていければいいと思います。このように、時代に合せて活動をしていくことが、人口を増やすことになつていくと思います。九戸村の未来についての意見がたくさん出ていると思うので、その意見を参考にし、問題をなくせばいいと思います。

あとながき



100歳おめでとうございます。これからもお元気で過ごしてください。

- ◆発行責任者 櫻庭 豊太郎
- ◆議長 桂川 俊明
- ◆議会広報常任委員会
- 委員長 桂川 俊明
- 副委員長 保大木 信子
- 委員 坂本 豊彦
- 渡 保男
- 山下 勝

議会では、議会広報紙編集委員会が常任委員会として活動し2年が経ちました。私たち委員は、広報が住民の皆さんに見やすく、分かりやすい広報になるように努めてきました。委員会では、皆さんのご意見、ご要望をお待ちしています。
議会広報常任委員会
委員長 桂川 俊明